

男女共同参画社会を考える

2

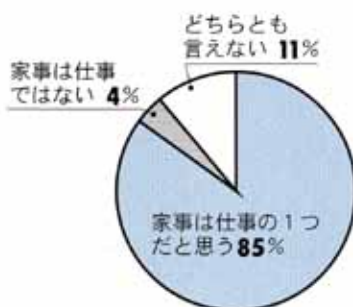
考えよう男女平等【仕事と家庭編】

飯館村男女共同参画プランに関する

アンケート結果から

○家事は仕事？

85%の男女が「家事は仕事」と認識



食事づくりから、掃除、洗濯、アイロンがけなど、家庭ではやらなければならないことがたくさんあります。いわゆる家事全般について、あなたの家庭ではどなたが行っていますか。

アンケート結果では、村内に住んでいる20歳以上の男女207人のうち、大部分の人が「家事は仕事の1つ」と考えているようです。しかし、中には「家事は仕事ではない」と考えている人もいます。ということがわかります。根底には「男は仕事、女は家庭」という考え、つまり女の人が家事をするのは当然という考えがあるように思います。あなたは家事を仕事と認識しますか？しませんか？

何に使うの教えて 村の予算 第2回 福祉予算

昨年の敬老会招待者は約1,300人でした。10年前が900人、その10年前が600人です。この20年間に村の人口は8,400人から7,000人に減少したにもかかわらず、70歳以上の方は2倍以上に増えています。

年輩の方が多くなることは大変うれしいことですが、一方でねたきりの方約40人、一人暮らしの方約70人、そして高齢世帯が120世帯など、新たな村の状況が生じてきています。従って、村の福祉対策も大急ぎで、しかも内容を充実させていく必要がありました。

村の計画では、役場のとなりに「文化会館」がすでに建っているはずだったのですが、それよりも「福祉が先」ということで「いいたてホーム」などが建ち、ディサービスなどが進められている訳です。

さて、福祉に対する村の予算は、10年前は約1億7,000万円でしたが、5年前には2億5,000万円となり、今年度は3億4,000万円です。大幅に増えていることがおわかりいただけるのではないのでしょうか。この他、村では「いいたてホーム」の建設資金なども出しています。

さて、今年の福祉予算をいくつか紹介しますと、今年から75歳以上の方が対象となった敬老会の予算は750万円、村内22の老人クラブ活動費に250万円です。さらに、「特老ホーム」「ディサービス」「ヘルパーステーション」「介護支援センター」など、いわゆる「いいたてホーム」に2,400万円ほどの予算を取り、みなさんの福祉事業を進めています。その他、社会福祉協議



会に1,500万円、やすらぎに1,000万円、14行政区で行っているミニディサービスに約1,000万円、一人暮らし給食サービスに170万円などとなっています。

さらに、昨年大変活用していただいた高齢者が快適に過ごすための住宅改造費に160万円、一人暮らしの緊急通報装置も、これまでの84台から今年は10台増やそうと340万円の予算をとっています。

また、障害者対策にも各種の事業があり、約1,500万円程の予算をとっています。昨年からは始めた「ふれ愛ピック」つまり「障害者もできるだけ多くの方と交流を」という事業を今年も実施予定です。

このように、10年前、20年前では考えられなかった福祉事業を村では力を入れて進めています。しかし、この事業は多くのボランティアの方々のあたたかいご協力があったからこそです。苦勞されてきた先輩の方々が、少しでも報われるようにこれからも福祉に力を入れていく考えです。詳しいことは村の予算書の11～18ページをご覧ください。

(次号は少子化対策予算についてです)